

令和3年度道路整備促進高知県大会 (主催:道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会)

令和3年5月17日(月)、城西館(高知市)において、山本有二衆議院議員、中西哲参議院議員、濱田省司知事、丹羽克彦四国地方整備局長をはじめ、ご来賓の方々、会員の市町村長、議会議長などをあわせ約200名の方々の参加のもと、「令和3年度道路整備促進高知県大会」を開催しました。

大会では、国土交通省道路局荒瀬美和环境安全・防災課長から、「道路行政をとりまく最近の情勢について」情報提供いただき、日本製鉄(株)池田豊人顧問から、「今こそ分散型国土形成へ」と題してご講演いただきました。

その後、四国8の字ネットワーク等の未整備区間解消とダブルネットワーク構築、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算の確保、道路整備・管理を長期安定的に行うための新たな財源の創設と令和4年度道路関係予算の満額確保など、7つの項目を満場一致で採決しました。

大会次第

- (1) 開会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 来賓紹介
- (5) 道路行政をとりまく最近の情勢について
国土交通省 道路局 環境安全・防災課長
荒瀬 美和 様
- (6) 講演「今こそ分散型国土形成へ」
日本製鉄(株) 顧問 池田 豊人 様
- (7) 決議採択
- (8) 閉会

主催者挨拶



池田 洋光 会長

- 総額15兆円に上る「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、ミッシングリンク解消等に弾みがつくほか、交付金も増額配分され、計画的な道路整備が可能に。
- 本県の四国8の字ネットワークでは、北川道路1工区が補助事業による新規事業化、宿毛～内海間が都市計画決定手続きを開始したほか、高知龍馬空港～香南のいち間の開通予定が発表されるなど、ミッシングリンクの解消に大きく前進。
- コロナ後の時代を希望あるものとするため、会員が一致団結して新たな財源の創設を含め、道路関係予算の拡大・確保に向け全力で取り組んでいく。

来賓挨拶



衆議院議員
山本 有二 様

- コロナ禍において本大会が開催されたことは、皆様の道路に対する熱意の表れであり、高知県のありとあらゆる道路の集大成となる本大会への皆様の尊いご出席に感謝する。
- 四国横断自動車道 宿毛～内海間では都市計画決定手続きが始まり、これが終われば新規事業採択となり、8の字ネットワーク完成に向けて大きく前進する。
- 高知県の道路がさらなる飛躍・発展を遂げるよう、引き続き皆様のご努力をお願いします。



高知県知事
濱田 省司 様

- 第4期産業振興計画を推進するうえで、安全で快適な人流と安定した物流を確保するため、着実な道路整備、維持管理が重要。
- 南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化している豪雨災害等に備え、受援体制を整えるためにも災害に強い道路ネットワークが不可欠。
- 高規格道路の整備促進に向けた提言活動や、一般国道および県道等の整備・維持管理について、しっかりと取り組んでいく。



参議院議員
中西 哲 様

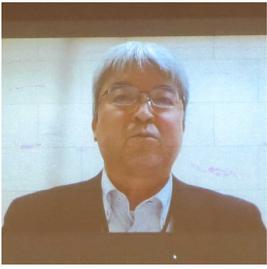
- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算が5年で15兆円、先の7兆円から継続されることが決定。
- 国土強靱化予算の15兆円は通常の公共事業費とは別枠として確保するよう財務省に強く訴えていく必要がある。
- 沿岸部の国道を地震・津波に強い道路に整備するほか、既存の道路を着実に整備するためにも必要な予算であり、皆様と一緒に確保に努めていくことを誓う。



四国地方整備局長
丹羽 克彦 様

- 県内の8の字ネットワークは中村宿毛道路や高知南国道路の前線開通、北川道路1工区の補助事業による事業化等、着実に前進しており、ミッシングリンク解消へ向けた弾みとなる。
- コロナ禍の今、経済活動の回復や分散型国土形成が強く求められ、高速道路ネットワーク強化は、これに大きく寄与する。
- 加速化対策を踏まえた「道路の5か年対策プログラム」に基づき、計画的かつ強力に道路整備を推進していくため、強い支援と協力を賜りたい。

情報提供



国土交通省 道路局
環境安全・防災課長
荒瀬 美和 様
〔WEB講演〕

【道路行政を取りまく最近の情勢について】

- 近年、直轄予算が横ばいの中、維持修繕費が増額したことにより、改築予算が減少していたが、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」および「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、改築予算は概ね横ばいを確保。
- 3か年緊急対策に加え、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築」、「道路の老朽化対策」が新たに位置づけられた。
- 次年度以降の各年度における取り扱いについても、今後の災害の発生状況や事業の進捗状況、経済情勢・財政事情等を踏まえ、機動的・弾力的に対応する、とされており、県、市町村においても適切な予算執行が大切。
- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策プログラムを策定し、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築ということで、高知県では南国安芸道路（空港～のいち）の開通時期を公表し計画的に取り組んでいく。
- 次期の推進計画を「コロナ禍における生活様式・交通行動の変容」「情報通信技術の発展」「高齢化等も踏まえた安心・安全」等を踏まえて策定を予定。

講演



日本製鉄株式会社
顧問 池田 豊人 様

【今こそ分散型国土形成へ】

- コロナ禍が気付かせた4つの重要性として、「人口集中のリスク」、「我々の生活を支える物流の重要性」、「人の移動が制限されたことによる人の動きと経済の相関性」、「リモート会議をはじめとするデジタル化の重要性」が挙げられる。
- 人口が減少する中で発展を維持していくには、自動化による生産性の向上、女性や高齢者・障害者の更なる活躍、人・モノの移動の総量の拡大、海外の優秀な人材の確保、限界集落の抑止が必要。
- 今こそ分散型国土形成に舵を切り、公共投資を着実に実施する体制に政策を転換することが求められる。
- 高度経済成長期から続く人とモノの移動の一番の主軸は東海・山陽軸であるが、それでは新しい需要の喚起は望むことはできない。これから新しい需要を喚起させようとすると、日本海軸・三陸軸ならびに四国から九州にかけての南海軸のインコース経済軸が今後重要である。
- 四国8の字ネットワークの整備は、九州・四国の南海軸連携のために大きな価値があり、ひいては日本経済の底上げに必須である。

決議



副会長 中平 正宏

- 決議案を力強く朗読。全会員の賛同をいただき、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会として採決した。

閉会挨拶



副会長 横山 幾夫

- 昨年度は「中村宿毛道路」及び「高知南国道路」が全線開通し、今年度は「北川道路1工区」が補助事業として新規事業化され、当協議会の活動の柱の1つである四国8の字ネットワークの完成に向け大きく前進した。引き続き、会員が一丸となって道路整備の促進に取り組んでいく。



道 全 協
こ う ち

道路整備促進期成同盟会
高知県地方協議会
(事務局:高知県土木部道路課)